

活 動 報 告

「外来魚駆除釣り大会 in 淀川 2016」

2016.5.8

淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク

駆除した外来魚重量は、過去2番目の少なさ

朝から晴天に恵まれたこともあって、今回も多くの皆さんに参加していただきました。参加者には、集中駆除して外来魚が少なくなった場所を避けて釣りをしてもらうよう案内をしたのですが、外来魚はあまり釣れず、今回駆除できた外来魚は、過去2番目に少ない重量となりました。

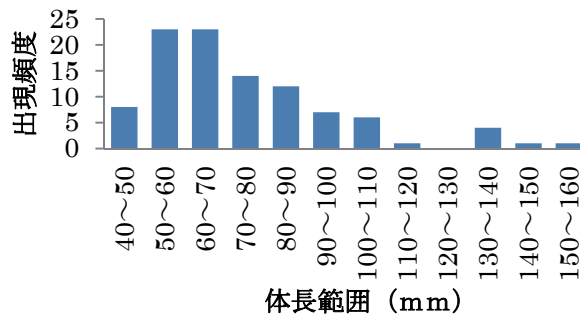
回を重ねるごとにこのイベントで駆除される外来魚の重量は減る傾向にあり、参加者からは「もの足りない」との声も聞こえますが、イベントの目的からすれば外来魚が減少傾向にあることは有り難いことであり、来年以降の当イベントでは釣れる量が少ない中でも参加者を減らさない工夫が必要であり、そのためにも外来魚が減ったことで毎年子孫を残せている天然記念物“イタセンパラ”の存在をこれまで以上にアピールしたいと考えています。

<当日駆除した外来魚のデータ>

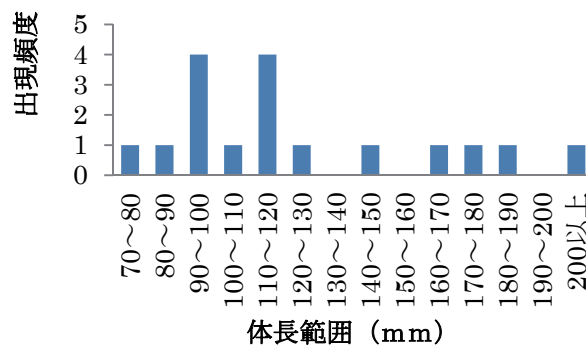
◆魚種別データ

魚種	ブルーギル	オオクチバス	カムルチー	ヌマチチブ
総尾数(匹)	327	17	1	11
平均体長(mm)	73	124	620	54
総重量(g)	4068	934	2800	46
平均体重(g)	12.4	54.9	—	4.2

気象条件(9:45時点)
 天候: 晴れ
 気温: 21.1℃
 表水温: 20.7℃
 (34号ワンド)

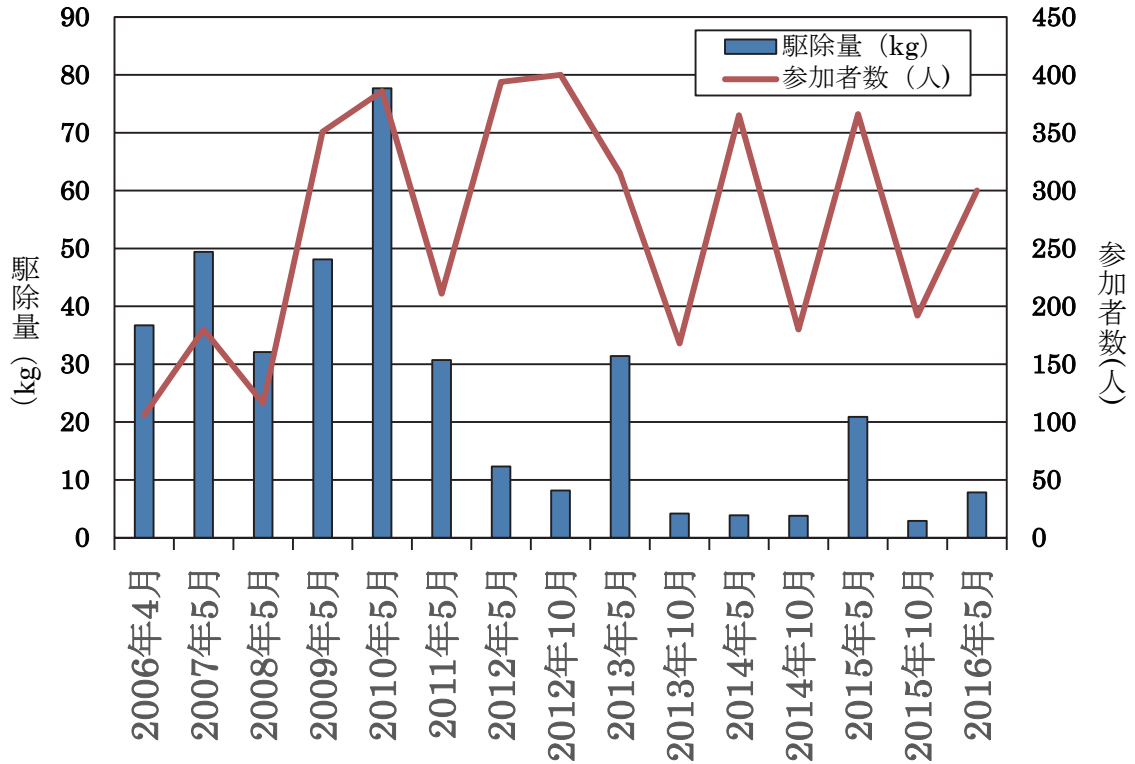


◆ブルーギルの体長分布



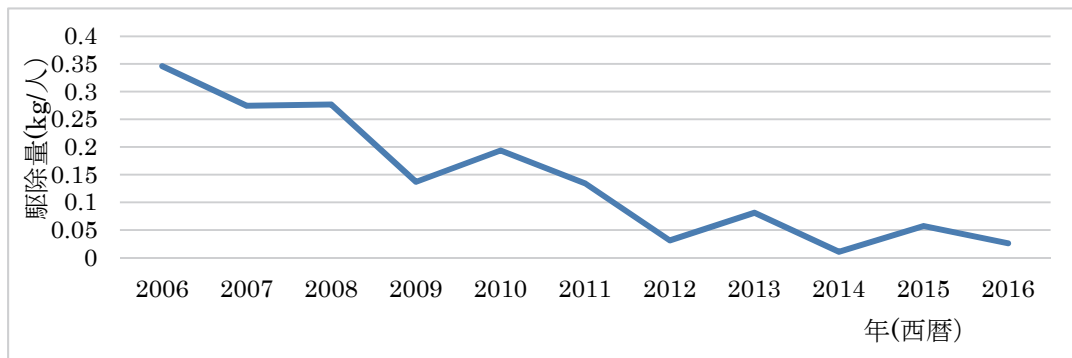
◆オオクチバスの体長分布

<過去のイベントの結果>



外来魚駆除釣り大会 in 淀川の参加者数と駆除重量の推移

◆ 駆除量と参加者数の推移



◆ 参加者一人当たりの平均駆除重量 (kg) の推移



開始直後から多くの参加者があり、
受付の前には長蛇の列ができました



参加者の皆さんは、思い思いの
場所で竿を出していました



トラブル防止のため、会場周辺に
イベントの告知を掲示しました



この日とれた在来魚を
水槽で展示しました。



とれた在来魚の中には、とても
珍しい“カワアナゴ”もいました



大勢の参加者に見守られながら
地引き網をおこないました



地引き網でとれた魚は、
種類ごとに参加者に解説しました



駆除した外来魚は、ほとんどが
ブルーギルでしたがやや少なめでした

外来魚駆除釣り大会 in 淀川 2016

開催日時 : 2016年5月8日(日) 10:00~15:00
開催場所 : 大阪市旭区淀川左岸河川敷(城北ワト^ド群)
参加人数 : 300名
駆除重量 : 7.8kg(356尾)
主催 : 淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク
共催 : 環境省近畿地方環境事務所
協力 : 大阪市環境局
大阪市立自然史博物館
高槻市立自然博物館(あくあぴあ芥川)
大阪工業大学工学部淀川環境教育センター
摂南大学淀川愛好会
全国ブラックバス防除市民ネットワーク
報告者 : 高田 昌彦(琵琶湖を戻す会)

本事業には地球環境基金より助成をいただきました。